

はしがき

国立国会図書館調査及び立法考査局では、平成22年度に「科学技術に関する調査プロジェクト」を開始し、1年間にわたり、館外の専門家とも連携して「科学技術政策の国際的な動向」の調査を行って、その成果を報告書として刊行しました。平成23年度は、この成果を踏まえ、「国による研究開発の推進—大学・公的研究機関を中心に—」をテーマに調査を実施しました。この報告書は、その成果を取りまとめたものです。

科学技術は、人類の知識の増進に貢献し、国民が直面する課題の解決に資する知識と技術を創出してきました。世界経済のグローバル化が進展し、新興国・途上国との競争激化の中で、先進諸国では、持続可能な社会の発展と経済成長の観点から、イノベーションへの期待が高まり、国の役割においても、民間部門では実現することが困難な取組みと、イノベーション促進のための基盤的条件の整備が求められています。

世界各国では、国の公的資金による研究開発において、大学及び公的研究機関が主要なアクターとなっており、これらは、公の政策に基づく研究開発を行うことで、イノベーションにおいて重要な役割を担い続けています。公的研究資金の配分と、それを通じた公的研究開発の促進は、科学技術政策の大きな課題ともなっています。

また、イノベーションにおける大学及び公的研究機関への期待が高まる一方で、国の財政事情による効率化の要請、研究基盤の維持・発展、研究活動による社会への貢献等の課題に対応するかが問われています。

この報告書では、我が国と主要国における公的資金による研究開発のメカニズムと営みを分析・整理し、その今日的及び将来的な課題を考えます。この報告書が今後の国政審議の一助になれば幸いです。

平成24年3月

調査及び立法考査局長 塚本 孝